

2021年1月12日 IRDAY

第2部（ESGパート）14：10-15：00

登壇者：

取締役 常務執行役員 宮階 定憲

社外取締役 岩崎 淳

Q1.次期中計に向けたマテリアリティの見直しについて

次期中期経営計画の策定に向け事業戦略とマテリアリティの検討は同時並行で進めている。マテリアリティの検討においては、事業を通して社会課題を解決していくことが出来るように外部機関による指針及び業界やグループ固有の課題等を踏まえ特定を進めていく。

Q2.ガバナンス上の課題について

取締役会での議論は社外・社内役員の忌憚ない意見交換が、以前にも増して活発化してきている。今後はよりグループ全体最適視点に立った経営戦略の議論が必要と考えている。

また、経営指標を各事業に落とし込んでいくことも課題であると認識しており、各事業の中で、経営指標を意識した KPI を定め各事業が主体的に ROIC 経営を推進していけるようにしたい。

Q3.役員報酬への ESG 視点の取り込みについて

ESG の各視点における議論をしっかり行い、会社としての目標や KPI を設定した上で役員報酬に取り入れていきたい。他社の事例も参考にしながら、検討していく。

Q4.温室効果ガス削減に向けた取り組みについて

温室効果ガス排出量は 2030 年を目標年とする数値目標の策定を進めており、事業の拡大と両立できるようバリューチェーン全体で取り組んでいく。また、牛由来のメタンガスの問題は重大な課題と認識しており、メタンガス削減に向けた研究開発も進めていく。

Q5.アニマルウェルフェアの考え方について

養豚における豚舎では、2 農場で妊娠時のフリーストール化を実施した。今後の新規農場については、同様の方向で進めていきたい。また、昨年から社外の団体との情報交換も進めており、そのような情報も取り入れながらグループとしてこの問題に取り組んでいきたい。

以上

